

防災行政無線



災害時にはサイレンも流します。サイレンが聞こえたら、テレビやラジオ、ホームページなどから詳しい情報を収集しましょう。

防災つばめメール 要登録

避難情報・気象情報・地震情報などをメールでお届けします。

登録はこちらから▶

固定電話音声配信 要登録

緊急時の避難情報や避難所開設情報などを、ご家庭の固定電話に音声メッセージで自動配信するサービスです。詳しくは、広報つばめ5月号25ページかホームページをご覧ください。

市ホームページ▶

- 利用対象者
- ・75歳以上の高齢者のみの世帯
 - ・自治会長
 - ・携帯電話を持たないなど、避難情報の取得が困難であると市が認めた世帯

○登録方法
申込書を防災課へ提出してください。

これまでに登録申請をした人には、6月10日(休)午後1時にテスト配信します。

燕市公式ホームページ

大規模災害時は、緊急情報ページを開設し、迅速な情報発信を行います。スマホやタブレットからもアクセスできます。

燕市公式ツイッター

災害時だけでなく、平常時も市のイベントや便利情報などをつぶやいています。フォローをお願いします。@koho_tsubame

燕市公式LINE 要登録 友だち登録はこちら▶

平常時も市のイベント情報などを毎日発信しています。自分の興味のあるカテゴリを選択して情報を受け取ることができます。

エリアメール

燕市内にいる人の携帯電話(対応機種のみ)に、避難情報などをお届けします。登録は不要です。

ラジオ(燕三条エフエム放送)

災害時は、通常放送から災害放送に切り替え、緊急情報や地元の詳しい情報をお届けします。 周波数…FM76.8MHz

市からの防災情報を得る

さまざまな情報収集方法

身を守るため、複数の手段から情報を入手できるようにしておくことが大切です！

マイ・タイムラインの作成支援を行います

「書き始めたけど、書き方がわからない」、「どこに気をつけて書けばいいの?」という疑問に防災課の職員がお答えします。

自治会などで集まっていたいただいても、個人でもOKです。お気軽にお問合せください。



「避難」と聞くと、避難所など家の外に逃げることをイメージする人が多いと思います。避難所に行くことだけが避難ではなく、身の安全を確保できるところに行くことが避難です。もしも家の2階が浸水しないのであれば、外に出ないことが最も安全な避難となることもあります。避難中に被災することや、避難所に大勢集まってしまうと、感染リスクが高まることも考えられますからね。つまり、状況に応じて自分にとって最も安全な避難



総務部 危機管理監
そごろ 十河 浩

方法を考えておくことが必要です。これを災害が起きてから考えていては遅いです。マイ・タイムラインを作成し、総合防災訓練で確認することで、災害時の自分の行動をシミュレーションすることが出来ます。出水期を前に、家族みんなで災害時の行動計画を話し合っておきましょう。

interview

避難所に行くことだけが避難ではない



2019年10月、台風19号の際の避難所の様子。

これまでのような避難所の運営方法では、「3密」の条件が揃いやすく、感染リスクが高まってしまうため、感染症対策を講じた避難所の運営が必要です。

分散避難

訓練では自宅または指定避難所などを避難先としますが、災害時には、自分の置かれている環境や、気象の状況にあわせて適切な避難場所を選択することが大切です。感染症拡大防止に配慮した避難にご協力をお願いします。

自宅(垂直避難)

- ・2階まで浸水しないことが想定されている場合
- ・夜間など避難が困難な時
- ・水や食料の確保が必要

親戚、知人宅

- ・浸水しない安全な地域にある場合
- ・水や食料の確保が必要
- ・感染症予防が必要

安全な地域へ車で避難

- ・浸水しない安全な地区へ避難
- ・水や食料、防寒具などを携行する

神社・仏閣・公会堂など

- ・地区内の浸水しない建物
- ・事前に施設管理者などと申し合わせが必要

市指定避難所

- ・自宅が危険で車による避難もできない場合
- ・感染症予防が必要

避難先への持ち物

感染予防のために忘れずにお持ちください。



市指定避難所での感染症対策

訓練では避難スペースの確保や、避難所の環境確認などを行います。

- 手洗い、咳エチケット、マスクの着用をお願いします。
 - ・こまめな手洗いをしましょう。
 - ・マスクの着用を徹底しましょう。
- 避難者同士の間隔をあけます。
 - ・避難所内の「密」を避けるため、人との間隔を可能であれば2mあけられるようスペースを確保します。
- 定期的な換気・消毒・清掃をします。
 - ・作業は市民の皆さんにも協力していただきます。
- 定期的な検温など健康チェックを行います。
 - ・体調を崩さないよう軽い運動や水分補給など体調管理に努めましょう。
- 発熱や症状がある人への差別は絶対にやめましょう。

避難所の運営は市民の皆さんの協力が必要不可欠です！

新型コロナからも身を守る

感染症対策を行いながらの避難